

## 2013年度 日本文化人類学会 第6回 理事会 議事録

日時：2013年12月21日（土）14:00～17:00

会場：上智大学 四谷キャンパス2号館 2-630a

出席者：小泉、赤堀、綾部、上杉、高倉、棚橋、中谷、三尾、森山、和崎

委任状提出：春日、亀井、岸上、窪田、栗本、佐々木、清水、曾我、出口、松田、山本

欠席者：池田、小田

### 〔承認事項〕

1. 2013年度第5回理事会議事録（案）を承認。
2. 新入会員（9名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. シンポジウム等の学会後援について
  - ・国立民族学博物館より国際シンポジウム「Social movements and the production of knowledge: politics, identity and social change in East Asia」（2014年2月22日～同2月23日）の学会後援依頼があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。
  - ・日程変更および企画変更に伴う、神奈川大学国際常民文化研究機構主催第5回国際シンポジウム「渋沢敬三の資料学—日常史の構築—」の学会後援再依頼（当初第4回理事会にて学会後援承認済。2013年12月7日・8日開催予定が2014年3月9日に変更、同一企画内で実施予定であった公開研究会を別途での開催の変更）があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。
4. 任期満了に伴う平成26年度洪澤賞選考委員会の委員長・委員の推薦について
  - ・委員長候補及び新規委員3名について総務会案が示され、承認された。

### 〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
  - ・本学会より推薦した島村一平会員が「第10回（平成25年度）日本学術振興会賞」を受賞したことを報告。
  - ・平成26年度科学研究費補助金・国際情報発信強化（B）「日本発東アジアネットワークの構築を基幹とする文化人類学研究の国際情報発信強化」の申請が完了したことを報告。
  - ・平成26年度科学研究費補助金・研究成果公開発表（B）「大学で学ぶ文化人類学：フィールドワーク教育の試みと可能性」の申請が完了したことを報告。
  - ・名簿改訂のための会員調査を実施したことを報告。
  - ・理事会メール稟議（「第9回日本文化人類学会賞選考委員会の委員の委嘱について」、11月13日発議）により、第9回日本文化人類学会賞選考委員会委員の原案が承認（11月15日）されたことを報告。
  - ・学会費未納4年目の会員に対して2013年12月31日までに年会費納入ないし正式な退会手続きのいずれかの手続きをとらない場合には退会処理を行う旨を本年度会費請求時に通知済みであることを説明の上、それに則り今年度末で退会処理を行うことを確認。なお、12月中に学会費未納4年目の会員にメールで退会意思の確認及び会費納入依頼を行うこととした。
2. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき前々回理事会以降24件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
  - ・JASCA-INFOの配信数が近年増加傾向にあることを報告。
  - ・学会事務局のパソコン、ストレージの更新は年明け以降を予定していることを報告。
3. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：欠席の松田理事に代わり上杉理事より、78巻3号の進捗状況を報告。投稿数が上向していることを報告。
  - ・国際連携委員会：小泉会長より、窪田理事とWCAAの会議に参加したことを報告。今年WCAA設立10周年を迎えるため学会50周年記念国際研究大会 IUAES2014 with JASCAにて記念シンポジウム、パネル等を予定していることを報告。
  - ・学会歴史委員会：欠席の栗本理事に代わり棚橋理事より、2013年12月24日から国立民族学博物館図書室で人類学者・民族学者映像資料の閲覧が開始されること、閲覧を希望する本学会員は学会事務局で交付の会員証を持参して閲覧手続きをとる必要があることを報告。本件の広報については委員会と国立民族学博物館との間で検討中であることを報告。

- ・学会 50 周年記念事業準備委員会：小泉委員長と綾部副委員長より、日本文化人類学会 50 周年記念事業に関し、学会 50 周年記念事業準備委員会で確認された次の事項について資料に基づき報告がなされた。

- ①助成の獲得状況と見積概算について説明がなされた。学会 50 周年記念国際研究大会のスケジュール、call for panels の採否結果、キーノートスピーカーの決定、招待パネル・企画パネル等について報告。レセプション、バンケットの計画進捗状況等について報告。
- ②国立新美術館で開催される特別展「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」について進捗状況を報告。関連シンポジウムを 4 月に企画していることを報告。
- ③JNTO(独立行政法人国際観光振興機構)を通じた募金活動に着手し、会員宛募金依頼書を作成し年内に送付することを報告。申請済み募金予定額を上回りそうな場合には事前に JNTO へ手続きを行うことを確認。
- ④企業向け募金依頼用の募金趣意書等の資料パンフレットを作成したことを報告。学会 HP へも一般向けの募金依頼を掲載することとした。HP への掲載原稿は小泉委員長が作成。
- ⑤世界各国・地域の人類学会会長のメッセージ映像を集めて公開するビデオメッセージ・プロジェクトを企画進行中であることを報告。
- ⑥参加登録料について、収入額に応じて配慮する方針であることを報告。

- ・研究大会運営検討委員会：綾部理事より、第 48 回研究大会の演題要旨登録を締め切ったこと、演題要旨登録数が第 47 回研究大会の約半分の規模であることを報告。
- ・地区研究懇談会：高倉理事より、東北地区にて学部生が研究発表を行う人類学フェスティバルを開催し、約 200 名が来場し盛況であったことを報告。意見交換の結果、成功例を共有するため改めて同企画について報告してもらうことを依頼。
- ・倫理委員会：和崎理事より、倫理規定に関する先行事例と資料を収集のうえ、次回理事会で報告予定であることを周知。併せて、各理事にも情報提供、情報交換を依頼。
- ・次世代育成セミナー実施運営委員会：森山理事より、11 月 16 日(西日本会場)、11 月 30 日(東日本会場)に次世代育成セミナーを実施したこと、参加者が少なかったものの個別の発表内容、コメントは充実していたことを報告。また、過去の発表者に対しアンケートを実施中であり、次世代育成セミナーの今後のあり方について「若手支援検討のためのワーキンググループ」において検討していくことを報告。同時に、若手の要望と学会の企画が合致しているかを調査検討していく必要があることを確認し、同ワーキンググループで検討を行うこととした。

#### 4. その他

- ・欠席の松田理事に代わり棚橋理事より、本年度の学会主催公開シンポジウム「現代文化人類学のフィールドワーク力：人類学は現代世界をどうみるか？」(11 月 17 日開催、於京都大学)の実施報告がなされた。事前に新聞、近畿の高校などにも広報を行い、高校生、市民を含む 140 名の参加を得たこと、会場から出た各報告への質問や文化人類学についての質問は、facebook のシンポジウムページで回答していることを報告。
- ・小泉委員長より、学会 50 周年記念国際研究大会において各国の人類学関連誌の編集に携わる人を中心に、平成 26 年度科学研究費補助金・国際情報発信強化(B)の申請内容に関わって、本学会の国際情報発信強化と国際連携強化に向けたラウンドテーブルを企画していることを報告。

#### 〔審議事項〕

1. 寄稿規程と査読規程の改定について
  - ・上杉理事より、『文化人類学』の「寄稿規程」「執筆細則」「査読規程」について編集委員会による各改定案が示され、意見聴取が実施された。各理事の意見を踏まえ、次回理事会にて改定案の審議を実施することとした。
2. 学会 50 周年記念事業について
  - ・白川千尋氏(大阪大学)が財務小委員会委員長に就任したことを報告。また、併せて出納担当者の雇用を検討中であることが報告され、雇用に際して発生する当面の費用については本会計から支出することが承認された。なお出納上の最終管理は委員長、副委員長が行うことを確認した。
3. 事務局員の雇用に関する申し合わせについて
  - ・総務会より、事務局職員の雇用契約更新について提案があり、契約更新を行うことが承認された。
4. その他
  - ・2014 年 2 月 16 日(日)に第 7 回理事会、3 月 15 日(土)に第 8 回理事会を開催することとした。

以上